

**さがみ縦貫道路(首都圏中央連絡自動車道)の橋梁下部工事において、場所打ち杭の施工に係る疑義について調査を開始します。**

### 記者発表資料

この度、神奈川県高座郡寒川町倉見地先において、現在、施工中である さがみ縦貫道路(圏央道)の橋梁下部工事において、基礎工である場所打ち杭の一部の施工に、疑義のある部分が有りました。

このため、場所打ち杭の確認調査及び関係者の確認調査を開始します。

調査結果は、概ね2週間程度を目途にまとめることとしています。

平成20年10月31日

国土交通省 関東地方整備局  
横浜国道事務所

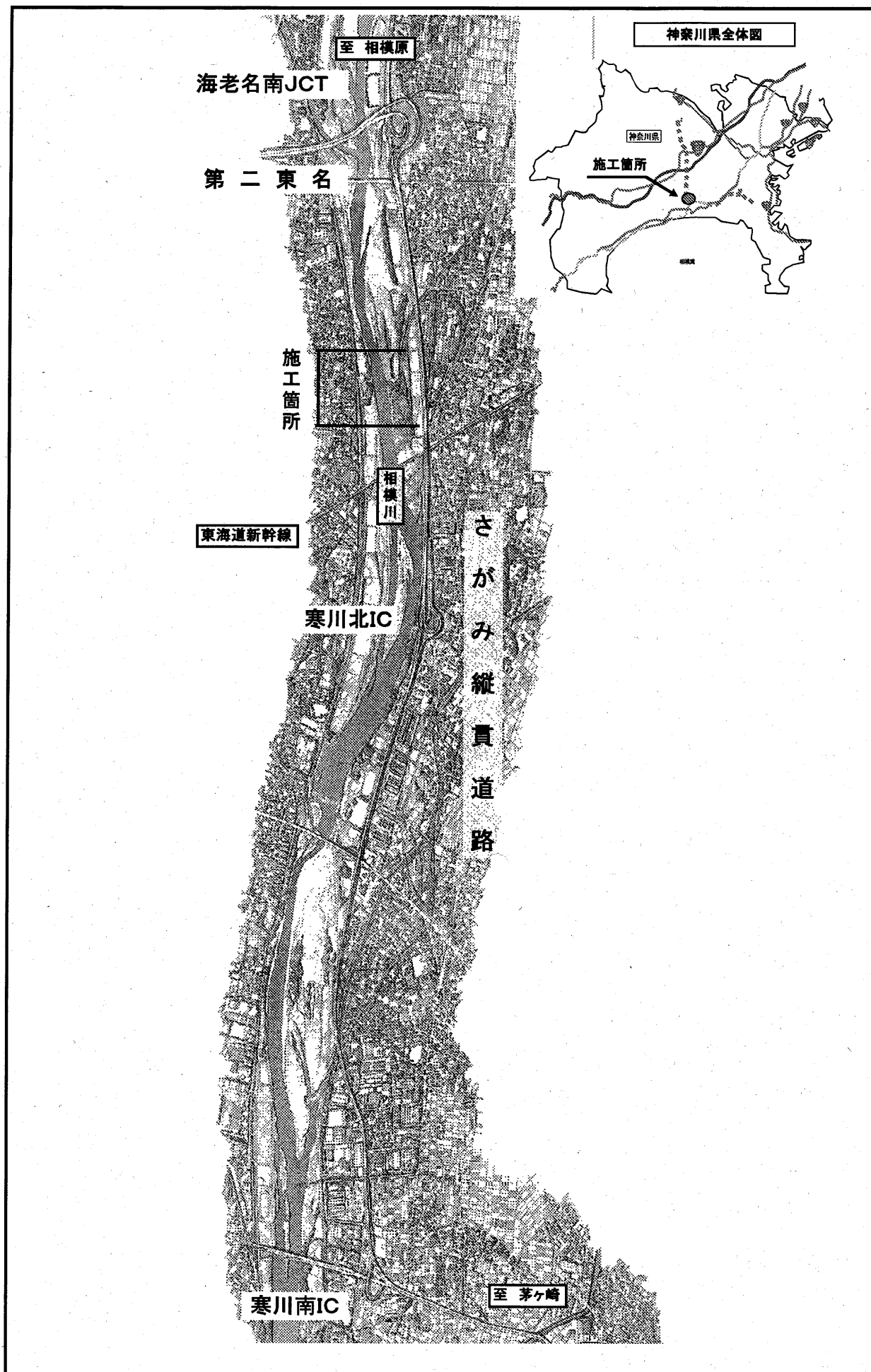
### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川県政記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会

### 問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局  
横浜国道事務所 電話 045-311-2981 (代表)  
副所長 酒井 洋一 (内線204)

# 施工位置図



## 《工事概要》

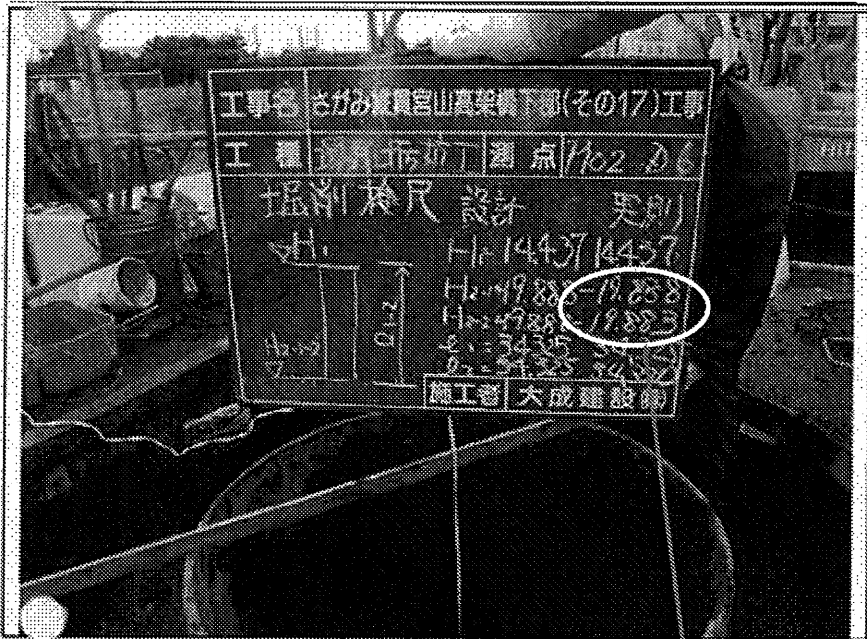
### ◆さがみ縦貫宮山高架橋下部（その17）工事

- 1) 工事場所： 神奈川県高座郡寒川町倉見地先
- 2) 工 期： 平成20年2月9日から平成21年3月31日まで
- 3) 請 負 者： 大成建設(株)横浜支店
- 4) 請負金額： 835,800,000円
- 5) 工事概要： 下部工 22基  
場所打ち杭（ベント杭）φ1200×136本

### ◆経緯の概要

- 10月23日(木) 横浜国道事務所において、場所打ち杭の施工管理記録について再確認したところ、管理記録の数値と写真に記載されている数値に違いがあることを確認。（別紙資料）  
大成建設(株)横浜支店に、確認を指示。
- 10月24日(金) 大成建設(株)本社において、全ての場所打ち杭を対象に施工管理記録書類等を調査。  
～26日(日)
- 10月27日(月) 大成建設(株)本社からの報告により以下について判明。  
①設計図の読み間違いにより杭の鉄筋上部を135mm高い位置にセッティング、鉄筋の切断 9本  
②その他、鉄筋かごの上がりなど 7本  
うち、鉄筋の切断 2本  
③上記①②のうち、杭の施工管理において、他の箇所でも撮影し直した写真が有ること、及び入れ替え前の写真を破棄してしまったこと。
- 10月28日(火) 横浜国道事務所において、現地の状況確認を開始。
- 10月30日(木) 工事関係者の確認調査を開始。

《大成建設(株) 提出資料(10月23日)》



杭名称	材料搬入	等	掘削底高さ(T.P)			
			設計値	実測値	差	
P102	○	D-1	完了	-19.888	-20.098	-210
		D-2	完了	-19.888	-20.066	-178
		D-3	完了	-19.888	-19.902	-14
		D-4	完了	-19.888	-19.917	-29
		D-5	完了	-19.888	-20.018	-130
		D-6	完了	-19.888	-20.070	-182
		U-1	完了	-19.880	-19.969	-89
		U-2	完了	-19.880	-19.928	-48
		U-3	完了	-19.880	-19.914	-34
		U-4	完了	-19.880	-19.915	-35
		U-5	完了	-19.880	-19.914	-34
		U-6	完了	-19.880	-19.886	-6

(杭管理表抜粋)

※黒板の数値と表の数値が異なっている

(表の数値は、-19.883でなければならないが、  
-20.070と記入されている。)

※実測値の短い値で管理している。

実測値 H2-1 -19.888 > H2-2 -19.883